

# 近畿支部会報2014年5月号

新緑が目に見え鮮やかですね。その美しい中を早朝散歩しています。近くには竹林があり、筍を掘っている方に会いました。「おはようございます」と声をかけると、「持ってお帰りやすか」の声とともに大きな筍が渡されました。大きいので固いかなと思いながら、家に帰り早速茹でました。何と柔らかくて美味しい事、その日、丁度パソコン教室に行くので、持って行ってお昼に皆で食べました。「柔らかくて美味しい」と言われたので、そのいきさつ（掘ったのを直ぐ茹でた）を言うと、「筍は魚というものね」との声、「そうか、それほど筍は鮮度が大切か」と改めて思った次第です。パソコン教室は、何と1942年生まれの私が若い方から2番目というシニアクラスです。でも、皆さんとてもお元気、「パソコンで頭と手を使って元気一杯」と人生を明るく楽しんでいられます。



パソコン教室のお遊び

今回の会報は、次の内容でお届けします。

- |                |       |                |        |     |
|----------------|-------|----------------|--------|-----|
| 1、例会報告         | ..... | 支部長            |        |     |
| 2、トラベラー受け入れ報告  | ..... | 彦根によろこ         | 滋賀県彦根市 | H.F |
|                |       | 旅行者との出会い       | 京都市    | T,N |
|                |       | お好み焼き屋さんがお気に入り | 京都市    | K.K |
|                |       | 横田基地からこんにちは    | 東大阪市   | M.T |
| 3、会員交流「北から南から」 | ..... | 詩吟人生           | 生駒市    | T.S |
| 4、お知らせとお願い     | ..... | 支部長            |        |     |

## 1、例会報告

支部長

日時：2014年5月17日（土）

場所：京都市 会員 H.T宅

出席者：本部役員2 支部役員4 会員4（京都3 奈良1） 家族3 会員外5 計18人

お天気も良く、新緑に包まれた良い日でした。会場に着くと早速昼食。初参加の人が多く、サーバスのエピソードも交えながらの自己紹介。午後1時から今日のメイン、Tさんによる講演です。Tさんは樺太でお生まれになり、小学校1年の時に太平洋戦争が始まりました。終戦後、引き揚げ船で北海道に來られましたが、その間の絶筆に尽くしがたい出来事をお話し下さいました。皆かたずをのんで聞き入りました。その後、国内会議で論議している日本サーバスのNPO法人化について話し合い、例会はお開きとなりました。希望者はその後、近くの光明院や日本画家 平井媒仙先生のギャラリーを見学し、例会良し、観光良しの1日でした。



### T.K さんの講演要旨、

T さんは昭和9年に樺太恵須取町でお生まれになりました。昭和16年小学校1年生の時に太平洋戦争が始まりました。昭和20年8月9日、日ソ不可侵条約を破って、旧ソ連軍が突然樺太全土に攻めこみました。恵須取大平地区住民も16日未明の空襲で一斉に避難を開始しました。炭鉱病院看護婦23名も夕刻になって避難を始めましたが、途中の武道沢でソ連軍に退路を断たれ、最悪の事態を予測したTa 婦長らは、17日未明、集団自決を図り、6人が絶命しました。あまりにも悲しい事件でした。食べる物もなく、水もなく、ただひたすらに歩き続けるつらいつらい避難の日々、皆、死と直面していました。そうすると、人間は理性もなくなってしまうものです。足手まといになる老人や子供が置いてきぼりにされ、道端には一緒に連れて行ってと拜む老人の姿がありました。20年8月23日、山脈を横断し、徒歩にて東海岸の内陸へ到着しましたが、8月末、占領下のソ連軍の命令にて、再び徒歩にて西海岸の恵須取へ戻りました。22年、引揚船に乗るため、ソ連船に乗り、真岡へ移動しました。22年6月、ソ連軍監視の収容所へ入り、日本赤十字の船を待ちました。7月、無事に日赤の引揚船に乗り、北海道へ到着しました。もう2度と戦争はしないと心から願います。

### 議題 日本サーバスのNPO 法人化について

今年の国内会議で配布された資料を基に説明と論議を行いました。その中で以下の2点について疑問が出されました。

- ① 今は支部単位で予算を組み、活動を行っているが、NPOに法人化されると、予算も活動計画も本部が組んで支部に下すことになる。
- ② 今はサーバスの会員どうしがトラベルを通じて、世界の地域、人々と理解を深め合い、世界が平和になるように活動している。NPO法人になると一般の人を対象にした活動もせねばならない。

この後、今日見学で来られているGさんが、NPOに詳しいので、NPOになって上手くいかなかった例や上手くいった例を話して下さり、いろいろ考える事が出来ました。特に結論は出ていませんが、日本サーバスのNPO法人化の是非について考える有意義な時でした。

## 2、トラベラー受入れ報告

彦根によろこそ

滋賀県彦根市 H.F

3月24日から26日までアメリカからGさんとNさんが来ました。彦根城に行きたいという理由でHさんから頼まれお引き受けしました。前日が私の所属する「彦根古城太鼓」の15周年コンサートだったので、「見にいらっしゃいませんか」と誘ったところ、お二人とも来てくださいました。

ちょうどホストをしていた同じ滋賀県の S さんが連れてきてくださいました。写真をたくさん撮っていただき、楽しんでくれたようです。翌日は、彦根城を中心に、玄宮園や博物館を案内しました。G さんはドイツから、N さんはフランスからアメリカに渡り、そこで出会ったと話してくれました。世界中を旅行してまわった写真を見せてもらいながら、お話をしました。また、ドイツのベルリンの壁の話の聞いたりして、とても勉強になりました。



## 旅行者との出会い

京都市 T.N

Day host を始めて足かけ 3 年になります。楽しい出会いがほとんどですが、まこと「一期一会」になるばあいが多いことには、寂しさを覚えることも無きにしも非ずです。

ここに、すこし面白いというか、残念な出会いを書いてみます。

春桜の季節、桜が見たいと訪ねてきた Jh さんは、1945 年生まれでアメリカ、カリフォルニアからでした。一か月間京都の祇園近くで旅館を取っています。サーバスでは案内のみを求めている方でした。

桜満開の日、京都平安神宮で待ち合わせ、南禅寺から、哲学の道を通り、銀閣寺へ、そして欲張って御所へも行く約束が整った前日、博多のホテルから突然電話が入りました。

主人が出て、どうやら私へらしいと替わりました、そして、ホテルのスタッフから「Ja さんが話したい」と告げます、彼女に替わり話しますと、「明日、新幹線で 11 時 55 分に京都駅に着く、御所へ行きたいので案内を頼む」というものでした。「私は予定があり無理だが、友人を紹介できるかもしれないので、LOI がほしい、友人に連絡して再び可否を告げる」と約束しました。新しく会員になられた F さんに連絡しましたが、彼女と繋がらず夜になりました。F さんは引き受けてくれました。それを Ja さんに伝えるべく電話しましたが、不在でメッセージを残しました。ファックスで LOI が届いていましたから、F さんへも送りました。1934 年生まれの女性でアメリカ、インディアナポリスの人です。その夜には、Ja さんから F さんへ電話がかかったものと思込み安心していましたが、実はなかったわけです。翌朝、念のため F さんに確認すると電話はないとのこと。ホテルへ三度電話すると、彼女はすでにチェックアウトしています。困り果てた我々は、とりあえず電話を待ちます。

Jh さんと桜見物をしながら、そのことが気になってしかたありません。何度か、F さんとのやり取りの結果、2 時近くに京都駅の近くで F さんとは会えたのですが、Ja さんはその日宿泊するところが決まっていなく、なければ東京へ行くというのです。Jh さんの泊まっている旅館から紹介で、ようやく空き残り 1 部屋に予約できました。

あとで聞くと、F さんへの電話も見知らぬ人に頼み電話をしてもらったということで、奇しくも 3 人の人に迷惑をかけました。携帯は持ってもらうか、公衆電話を探してほしかったです。

会えて、宿泊先も決まり「ほっ！」する二人の day host でした。

偶然御所にいる 4 人は御所で会い、休憩所でいろんな話をしました。とても Ja さんの英語は聞き取りにくく苦労しました。英語力の無さに自省がありました。アメリカの二人の方は祇園に向かうので、F さんをお願いして私は地下鉄へとお別れをしました。ひどく疲れを感じた一日でしたが、なんとか収まったという思いでした。その後の様子を F さんから聞きましたが、外食でベジタリアンの方

を案内するのはまことに難しいものだと言えます。私が昼食に選んだのは「おめん」のうどんであり、大変満足して食べてくれた Jh さんでしたが、夜もうどんになり、メニューから選択するのにかなりの時間を要したそうです。

一方 Ja さんの荷物は重たく、手助けが必要であるということもあり、その他のことを含めて day host も体力との勝負かと思えます。

さまざまな体験は楽しくもあり、時には負担を感じることもあるサーバスのボランティアです。

## お好み焼き屋さんがお気に入り

京都市 K.K

受入日 4月7~9日

日本は初めてという、France Nantes よりのお客様 C さん、初日から、ルフトハンザのストライキで一日遅れて成田に到着、我が家でも、予定していたことがずれてしまいました。

初日は、成田～東京駅経由で、夜行バスで、朝早く京都駅着、我が家で、朝食とシャワーの後、デイホストの F さんの案内で一日フルに、京都見物、京都はちょうど桜も満開で、あちらこちらと、たくさん観光されたようで、初めての京都で行って見たい名所をたくさん調べて来られていたので、満足されたよう～。さすがパワフルレディの C さんもお疲れ気味でした。

夜は、F さんもご一緒に、我が家で夕食。楽しい会話をしながらの日本での初日を過ごしてもらいました。

二日目は、どうしても行きたい金閣寺と伏見稻荷が残っており、私が足の怪我で、案内できないので、急遽、一日案内をお願いできる友人、I さんの車で、私と三人わいわいがやがや賑やかに京都市内をドライブ。途中満開の桜も楽しみながら目的の場所へ。最後には、京都駅前のヨドバシカメラで、カメラのバッテリーの充電器も買い求めショッピングも楽しめました。

この日は、前夜からご自分のメールチェックをしたいといわれるが、我が家ではできず、ちょっとした Wi-Fi 騒動になりました。私が、ミッファイと勘違いをして、意味がわからず、われながら、アナログで、Wi-Fi のことが良くわからず、我が家の無線ランがそれであるかないかもわからず、あわてました、近くに住む、それらに詳しい友人 E さんのお家に伺い、いろいろおしえていただいて問題解決。お二人とも初対面だけど、南米に永く旅をされていたことも共通点で、スペイン語での会話も弾みました。

画家である E さんの画を見せてもらわれたり、美味しいグアテマラのコーヒーを飲ませていただいたりして、短い時間でしたが、意気投合して、楽しい交流をされ、私もほっとしました。

夕食は、ドライバー役の I さんにお好み焼き屋さん連れにいただき、アルコール抜きの美味しいお好み焼きパーティー。掘りごたつ式で、ガスが来ている鉄板がお気に入り、大喜び。日本のチープグルメも楽しんで体験され、一日笑いがたえない楽しいおもてなしができたことを私自身が喜びと感じました。「K は楽しい素敵な友人がいるのね」とおっしゃってくださいました。本当に、今回はいろいろな方に協力をいただいての、おもてなしができました。

Sevas のお蔭で、楽しい思い出ができた喜びを感じています。

C さんありがとう～ また是非いらしてくださいね。



## 横田基地からこんにちは

東大阪市 M.T

米国人 S.C54 才 V.S17 才を、4月8日,9日,10日受け入れました。Sは横田空軍基地で米軍人家族のカウンセラーをしています。Vは女子高生で春休みをSとすごしています。彼女らは横田基地内に滞在しています。

我が家ではマレーシア航空機事件の話題を話し合いました。僕はマレーシア航空機は事故で行方不明になったのではなく、これは深刻な事件になって行くかもしれないと説明をしました。ボーイング 777-200 型は 14000km 以上の距離を飛行できます。

「陸地に着陸をしている可能性も、でも 3000m の滑走路が必要、目的は何なのか」彼女の質問。彼女には僕の推測を話しました。航空機が海上に墜落したとしたら浮遊物、ライフジャケット、グラスファイバー等が浮き上がってくるのですが、何も見つかりません。横田基地に帰った時に、僕たちが話し合ったことをお友達に話してくださいねとお願いしました。



## 3、会員交流「北から南から」

### 詩吟人生

生駒市 T.S

私が詩吟と言うものに初めて触れて随分月日がたちました。それは大学祭の時でした。何気なく覗いたホールで私は見事な学生の合吟に圧倒されました。それはもう強烈な出会いがありました。そしてその瞬間に、「是だ！将来 私の進む道はこれだ！」と心に決めたのです。

当時私は戦争で死んだ父の撮影した写真作品を見て写真に憧れ写真に夢中でしたので、直ぐには行動に移しませんでした。が、いつかきつと堅く心に決めていました。でもその機会は意外と早く遣ってまいりました。それは2年後の後輩でSと言う たまたま詩吟を習っている者がいたのです。

詩吟の強力な魅力に引かれ写真部の後輩の紹介で大阪岳風会のとある教室の門を叩きましたのは、青春真っ只中の未だ詰襟姿も凛々しい大学の4回生の時でした。先生は栃本伸風という当時新進の詩吟の塊のような方でした。私はまだ学生でしたので大変可愛がられたように思います。詩吟のしの字も知らない私は、ただ先生の真似をして大声で吟じるだけでした。それでも詩吟が楽しくて楽しくてたまらなかつたのです。教室で新しく習ったことは忘れないように、ずっと口ずさみながら家に帰ったものです。電車の中でももごもご言っていたように思います。家では風呂に入って大声で吟じていましたので、近所に丸聞こえだったと思います。

卒業後一時仕事で名古屋に住んだり、仕事を辞めて長らく海外を放浪したりしましたので、しばらく詩吟を離れた時期がありました。帰国のあくる日には以前お世話になった栃本先生夫妻を訪ねました。やっぱり詩吟が好きだったのでしょう。日本脱出からすでに丸4年が過ぎていました。突然の私の訪問に栃本先生ご夫婦の喜びは一言では言い尽くせないものがありました。当時学生運動が盛んで日本赤軍が海外でも暴れていた時期でした。もしかして私も学生運動に身を投じて、もう海外のどこかで野垂れ死んだかと思われてもおかしくない時代でしたので、私の無事で しかも突然の帰国がよほど嬉しかつ



たのかも知れません。私が無事日本に帰国出来たのは きっと奥様が出発前に手渡してくれた小さな金色の蛙のお守りのお陰だと思いました。そのお守りは今も大事にしまっています。

さて私が帰国した時には 栃本先生は大阪岳風会から東京の横山岳精先生率いる岳精会という会派に変わられていましたが、私は黙って先生の後に付いていきました。それは昭和 51 年の 11 月も末の事でした。以来月日が流れ、恩師の栃本精学 龍華先生ご夫妻はご他界されましたが、今も先生ご夫妻の朗々とした吟声が忘れられません。今日私があるのは両先生のお陰です。本当にありがとう御座いました。

生駒に初めて教場を開くチャンスが訪れたのは平成 3 年の秋でした。会員は 1 人でしたが、毎週日曜日に会員さんのご自宅まで車で指導に伺いました。数年続いたと思います。1 人でも大切な会員だったので一生懸命に指導させて貰いました。このことが今日の生駒支部の礎になったことは間違いありません。その後第二教場、第三教場と立ち上げていきました。会員は順調に増え、生駒市の自主学习グループにも加盟させていただき毎年秋の楽しい自主グループフェスタにも合吟で出演しています。お陰様で私は幸運にも多くの会員に助けられ、平成 19 年 1 月にそれまでお世話になった大阪岳精会から離れて岳精流日本吟院の独立教場を立ち上げました。発足当時は確か 34~5 名でしたが、努力の甲斐あって新しい会員が次第に増えてまいりました。そして発足から 2 年を経ずして、平成 20 年 8 月に岳精流日本吟院生駒支部として家元、宗家より認可を頂きました。思えば私が詩吟にあこがれて入会して以来、長い道のりでしたが、1 人の会員から始めた人の輪が雲の様に大きくなり今日があることを感謝し喜びに浸る毎日です。

私はこれからも命のある限り詩吟にいそしみ、微力ながら吟界の末席で精進するつもりです。

## お知らせとお願い

### 支部長

\*既にお知らせしていますように、6月22日(日)、「生駒の自然と食を楽しもう」というお楽しみ例会があります。楽しい企画ですので、どうぞ誘い合ってご参加ください。

\*水仙を植えられている人は、もうそろそろ葉が黄色くなり始めているのではないのでしょうか。葉が枯れて何処に球根があるかわからなくなる前に掘り起こして、東日本大震災の支援活動を精力的にされている T さんに送って、被災地に水仙を咲かせる活動にご協力下さい。送り先は T さんの自宅です。HL に住所が書かれていますので、宜しくお願ひします。

\*2014 年度サーバスの年会費(一般 3000 円 学生 2000 円 休会者 B 1500 円)をまだお納めいただいていない方は、下記の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号 00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部